

竹節作太 たけふし スキー選手、登山家。明治二十九年四月十七日長野
 縣下高井郡平徳村生れ、昭和六十三年八月十一日没（一九六一年）。大
 正十四年早稲田大學商學部入學。昭和二年スイスのサンモリツツ第一
 回冬季オリンピックスキージ日本初の選手として出場。翌年卒業、東京日日
 新聞社入社。十一年立教大學山岳部と共ニナンダゴツト登頂、翌年分
 本山岳會に入る。二十六年毎日新聞社東京本社運動部長、ニューデリ
 ー第一回アジア大會特派員。翌年からの日本山岳會マナスル登山踏査
 隊に參加。三十四年白馬觀光株式会社常務取締役となり、白馬八方尾
 根開發に奮む。

著書に、『我がヒマラヤの記』（昭和十八年一月十五日電文館）、『ヒ
 マラヤ探検記—我がナンダゴツト征服』（昭和十九年一月二十五年三
 省堂）、『山の生きている』（昭和二十一年七月二十五年双山社）、『雪
 の千一夜』（昭和二十四年十一月二十五年電文館）、『ヒマラヤの山
 と人』（昭和二十七年七月）『電文堂』『放談新書』一等。

